

赤外線サーモグラフィ試験 新規受験申請時の訓練実施記録の書き方 (レベル1・レベル2)

新規受験申請時に必要となる訓練実施記録の作成方法についての手順を
Step1～4で説明します。

Step1 受験するTTレベルに必要な訓練時間を確認して下さい。

受験申請を行う条件として、レベルごとに訓練時間が下表のように規定されています。

NDT 方法略称	レベル 1	レベル 2	
		レベル 1 資格所有者	レベル 1 資格非所有者
TT	40時間	80時間	120時間

- ・ 訓練実施記録は、認証事業本部の指定する専用用紙を使って作成して下さい。
(NDIS 0604 赤外線サーモグラフィ試験の頁からダウンロード出来ます。)
- ・ 赤外線サーモグラフィ試験の訓練(講習会)は当協会でも実施しています。協会 HP の「教育活動・講習会」の頁で日程、詳細を確認し、計画的に訓練を受けて下さい。
【教育活動・講習会ホームページアドレス】
<http://www.jsndi.jp/education/index1.html>

※訓練者について※

2012年春期試験より赤外線サーモグラフィ試験制度が開始されます。認証制度の開始にあたり、NDIS 0604による有資格者が存在しないことから、TT資格者による訓練が実施できません。よって「訓練責任者」が「訓練者」について相応の技術・知識があると判断した場合は、「訓練責任者」を置いて訓練実施記録を作成して下さい。

〈記入例は訓練A(訓練責任者をおいた例) Page6/8頁を参照〉

※訓練者……………相応の技量がある訓練者

※訓練責任者……………訓練者の技量及び申請者が受けたTT訓練について全責任を
もてる方

訓練者と訓練責任者が同一人物の場合は認められません。

Step2 受験申請書に添付する訓練証明書を用意して下さい。

訓練実施記録は、受験申請書提出時に必要な添付書類です。受験申請書提出日からさかのぼって5年以内の訓練日のものが有効となります。従って、訓練実施記録の中に訓練実施日が5年以上経過した箇所があれば、その部分に限っては訓練時間の対象とはなりません。

(1) 協会（他協会含む）や公共団体、その他団体の講習会を受けた場合

講習会の主催団体に訓練実施記録を発行してもらって下さい。

記載例については→[訓練 A \(Page5/8 参照\)](#)

(2) 社内訓練の場合（注：申請者自身による自己学習は訓練時間として認められません）

社内訓練とは、社内の訓練者が教育シラバスに基づいて計画的に訓練を実施し、自社で訓練実施記録を作成する場合をいいます。

記載例については→[訓練 A \(Page5/8 参照\)](#)

(3) 他会社の訓練を受けた場合

他会社の訓練とは、社内に訓練できる技術者がいない場合に、他社の技術者に教育シラバスに基づいた訓練を依頼した場合等が該当します。依頼した訓練者に訓練実施記録を作成してもらって下さい。

記載例については→[訓練 A \(Page5/8 参照\)](#)

※2か所以上の訓練機関で訓練を受けた場合

2か所以上の訓練機関にて訓練を受けるなどして、訓練実施記録が2枚以上になる場合、訓練実施記録集計表にそれぞれの訓練実施記録の時間を集計していただき、新規受験申請書、訓練実施記録と共に提出して下さい。

記載例については→[訓練実施記録集計表を利用する \(Page6/8\)参照](#)

※1か所の訓練機関で訓練時間を満足する場合は、訓練実施記録集計表の提出は不要です。

協会 HP にてご案内しております

- ・ T T 訓練の訓練内容は **認証事業本部が指定する教育シラバスに基づいて行って下さい。** 教育シラバスの詳細は協会 HP NDISO604 赤外線サーモグラフィ試験案内の頁の **赤外線サーモグラフィ試験教育シラバス** にてご案内しております。
- ・ 訓練実施記録及び訓練実施記録集計表（MS Excel）は **認証事業本部指定** のものになります。協会 HP NDISO604 赤外線サーモグラフィ試験案内の頁から用紙をダウンロードして下さい。

Step4 新規受験申請書へ添付した訓練実施記録の訓練内容を入力して下さい。

新規受験申請書は協会HPからダウンロードできます。MS Word上で申請内容を入力できますので、入力方法等の詳細は**赤外線サーモグラフィ試験新規受験申請書の入力方法**をご確認下さい。(受験申請書は①、②、③の3枚をプリントして①、②を提出して下さい。③は受験申請者本人が保管して下さい。)

(例) 新規受験申請書に **2011年4月7日から2011年4月12日の間に実施した40時間分以上の訓練実施記録が2枚以上添付されている場合。**

① 申請書提出用 ② 申請書提出用 ③ 申請書提出用

① ② ③

JSDI 2012年春期資格試験用
NDIS 0604 赤外線サーモグラフィ試験 新規受験申請書

受験申請日(西暦) 2011年12月12日

試験種別	レベル	NDT方法①	NDT方法②	NDT方法③	一次試験	二次試験	最終選択
10	1	TT	**	**	**	13	**

個人コード P 01234567 性別 1 男性 生年月日(西暦) 1949年12月09日

勤務先名/フリガナ (勤務先名) ㈱サーモグラフィ検査 (勤務先フリガナ) サーモグラフィケンサ
勤務先電話番号 03-5821-5104 業種 01

受験者氏名/フリガナ (氏名) 非破壊 新太郎 (フリガナ) ヒロカイ シンタロウ 受験者押印

NAME(ローマ字) HIHAKAI SHINTAROU

送付先指定 1.自宅本人 2.勤務先本人 3.担当者

送付先名称 ㈱サーモグラフィ検査
所属部署名 検査部管理課
受験者名(又は担当者) 非破壊 新太郎
住所 〒101-0026 東京都千代田区神田佐久間河岸 67
電話番号 03-5821-5104 FAX番号 03-3863-6522
E-mail Address S-hihakai@ne.jp

基礎試験合格者(レベル2)基礎試験合格者のみ入力
K ***** 基礎試験合格有効期限入力(西暦年月日) 20 *****

受験申請した直下位のレベルの認定番号入力
N *****

訓練開始日(西暦) 2011年 04月 07日 訓練終了日(西暦) 2011年 04月 12日 添付書類枚数 3枚 合計訓練時間 52.5時間

●TTレベル1及び2受験者は必ず入力
(訓練先ごとにまとめて入力。2カ所以上の訓練先で受講、訓練実施記録が複数枚にわたる場合は訓練実施記録集計表も添付すること)

訓練先名称	訓練実施日(西暦年月日)	延訓練時間	書類No.
サーモグラフィ検査機関	2011年04月07日～2011年04月19日	25時間	1
赤外線検査訓練所	2011年04月09日～2011年04月11日	25.5時間	2
(社)日本非破壊検査協会	2011年04月12日～2016年04月12日	2時間	3
	年 月 日～年 月 日	時間	
	合計訓練時間	52.5時間	
<input checked="" type="checkbox"/> 訓練実施記録集計表有り	添付書類合計枚数		4枚
	訓練実施記録集計表がある場合はそれも含めた枚数		

●TTレベル3受験者のみ入力(該当する欄の□に×を入力して下さい。)

個人的学習(その学習に使用した参考書名、発行社名を記載した証明書)

研究論文発表(その発表を行った場(主催団体名、発表会名)とそのタイトルを記載した証明書)

書籍-解説等の執筆(その執筆した書籍名、発行社名、タイトル等を記載した証明書)

講演会、セミナーなどに参加(主催した団体名と会議名又はセミナー名を記載した証明書)

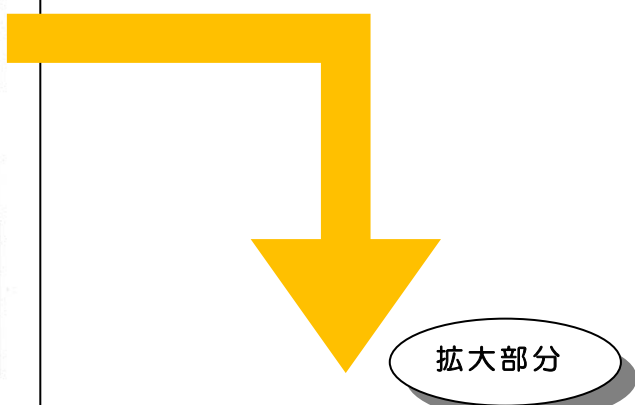
本受験申請書の記載内容に相違ないことを証明します。

雇用責任者名 非破壊 三部 証明日(西暦) 2011年11月17日

勤務先名 ㈱サーモグラフィ検査
所属部署-役職 検査部管理課 係長
住所 〒101-0026 東京都千代田区神田佐久間河岸 67
TEL/FAX TEL: 03-5821-5101 FAX: 03-3863-3622

それぞれの訓練実施記録の訓練先名称、訓練実施日、延訓練時間を入力して下さい。

※訓練先名称とは訓練を行った機関や会社名を指します。「〇〇鉄工所内研修所」や「▲▲ビル土木現場」等の訓練実施場所ではありませんのでご注意ください。



拡大部分

●TTレベル1及び2受験者は必ず入力
(訓練先ごとにまとめて入力。2カ所以上の訓練先で受講、訓練実施記録が複数枚にわたる場合は訓練実施記録集計表も添付すること)

訓練先名称	訓練実施日(西暦年月日)	延訓練時間	書類No.
サーモグラフィ検査機関	2011年04月07日～2011年04月19日	25時間	1
赤外線検査訓練所	2011年04月09日～2011年04月11日	25.5時間	2
(社)日本非破壊検査協会	2011年04月12日～2016年04月12日	2時間	3
	年 月 日～年 月 日	時間	
	合計訓練時間	52.5時間	
<input checked="" type="checkbox"/> 訓練実施記録集計表有り	添付書類合計枚数		4枚
	訓練実施記録集計表がある場合はそれも含めた枚数		

この例のように訓練実施記録が2枚以上となっているので訓練実施記録とは別に**訓練実施記録集計表**を添付する必要があります。
(□にチェックを入れて下さい。)

●訓練A（訓練責任者を置いた場合）の作成例



赤外線サーモグラフィ試験 レベル1 訓練実施記録

1/1

NDT方法・レベル	TT-レベル1		証明日 年 月 日
訓練を受けた者の氏名	非破壊 新太郎		
訓練を受けた者の署名・押印	非破壊 新太郎		

←受験申請書へ添付する書類は、訓練実施記録の原本をコピーした後に、訓練を受けた者の署名欄へ自筆署名（ボールペン等）、押印をしてください。（訓練記録は5年間有効なため、複数回使用できます。）

訓練内容	訓練内容題目	最低限必要な訓練時間(h)	訓練実施時間(h)	訓練実施日(西暦・月・日)	訓練実施場所	訓練者		
						氏名	押印	保有資格
序論	非破壊検査一般 認証制度	1.0	1.5	2011/4/7	サーモグラフィ検査機関	斉藤 勝		
伝熱工学の基礎	熱、温度、エネルギー 伝熱の3形態	2.0	4.5	2011/4/7	サーモグラフィ検査機関	斉藤 勝		
赤外線工学の基礎	赤外線一般知識 基礎となる物理法則	2.0	2	2011/4/7	サーモグラフィ検査機関	斉藤 勝		
赤外線サーモグラフィ装置	装置の持つ基本的機能	2.0	2	2011/4/7	サーモグラフィ検査機関	山元 祐介		
	画像処理 補助機器							
熱負荷装置の種類	接触による熱負荷	1.0	1.5	2011/4/8	サーモグラフィ検査機関	山元 祐介		
	放射加熱 通電加熱装置 その他の加熱装置							
きず(欠陥・異状)の種類	電気・電子関連 機械設備関連	2.0	1.5	2011/4/8	サーモグラフィ検査機関	山元 祐介		
	プラント設備関連 土木・建築関連 材料評価関連							
測定原理	赤外線サーモグラフィ試験の特徴	2.0	2	2011/4/8	サーモグラフィ検査機関	斉藤 勝		
	断熱温度場検出に基づく方法 その他の方法 アクティブ法とパッシブ法 定性的方法と定量的方法							
測定の実施	試験環境	2.5	1.5	2011/4/8	サーモグラフィ検査機関	斉藤 勝		
	撮像方法 データ処理							
非破壊検査に関する技術文書	技術文書の種類	1.5	1.5	2011/4/8	サーモグラフィ検査機関	山元 祐介		
	記録と報告 用語							
実技	準備、試験、報告	10.0						
	各種試験	6.0	7	2011/4/9	サーモグラフィ検査機関	斉藤 勝		
合計			25	時間				

この訓練について全責任をもつ訓練責任者を置いた場合、この訓練Aのパターンになります。

訓練時間・講義と実技の時間配分確認欄	
最低限必要な講義時間	16.0
最低限必要な実技時間	16.0
必要な訓練時間	40.0
講義と実技の時間配分	
講義	16～24
実技	16～24

訓練機関名称	サーモグラフィ検査機関
所在地	〒XXX-XXXX 東京都江東区有明1-× 江ル7階
訓練責任者	葉山 洋祐
役職	XXXX部 XXXX課
連絡先(電話番号/FAX)	電話番号 XX-XXX-XXXX / FAX XX-XXX-XXXX

(受験申請時の提出書類)

1 か所の訓練機関または訓練実施記録が 1 枚で訓練時間を満足する場合

● 新規受験申請書 ●
(㊟・㊿2枚プリントして下さい。)

● 訓練機関Aで 40 時間分の訓練実施記録 ●
(訓練実施記録は1枚)

受験申請書 (西暦) 2011年 12月 12日

NDIS 0604 赤外線サーモグラフィ試験 新規受験申請書

試験種別	レベル	NDI 方法①	NDI 方法②	NDI 方法③	NDI 方法④	一次試験	二次試験	機材選択
10	1	TT	TT	TT	TT	13	13	TT

個人コード P 01234567 性別 1. 男性 生年月日 1949年 12月 09日

勤務先/資格 非破壊 新太郎 (勤務先名/資格) サーマグラフィ検査 (勤務先名/資格) サーマグラフィ検査

勤務先電話番号 03-5821-5104 (勤務先名/資格) サーマグラフィ検査 (勤務先名/資格) サーマグラフィ検査

受験者氏名/資格 (氏名) 非破壊 新太郎 (資格) ヘルボイ シンタロウ 受験者 押印

NAME(ローマ字) HHAKAI SHINTAROU

送付先指定 1.自宅本人 2.勤務先本人 3.担当者

送付先住所 住所 平101-0026 東京都千代田区神田佐久間河岸 67 電話番号 03-5821-5104 FAX 番号 03-3863-6522 E-mail Address S-hihaka@npi.jp

基礎試験合格番号(0~2) 基礎試験合格者のみ入力 基礎試験合格有効期限(西暦年月日) 20****

K ***** 20 *****

N *****

訓練開始日(西暦) 2011年 04月 07日 訓練終了日(西暦) 2011年 04月 12日 送付書類枚数 3枚 合計訓練時間 52.5時間

●TTレベル1及び2受験者は必ず入力 (訓練先ごとにまとめて入力、2カ所以上の訓練先で受験、訓練実施記録が複数枚にわたる場合は訓練実施記録集計表も添付すること)

訓練先名称	訓練実施日(西暦年月日)	延訓練時間	書類枚数
サーモグラフィ検査機関	2011年04月07日～2011年04月19日	25時間	1
赤外線検査訓練所	2011年04月09日～2011年04月11日	25.5時間	2
(社)日本非破壊検査協会	2011年04月12日～2016年04月12日	2時間	3
	年月日～年月日	時間	
	合計訓練時間	52.5時間	
<input checked="" type="checkbox"/> 訓練実施記録集計表有り	送付書類合計枚数	4枚	

●TTレベル3受験者のみ入力(該当する欄の□に×を入力して下さい)

個人的学習(その学習に使用した参考書、発行社名を記載した証明書)

研究・論文発表(その発表を行った場(主催団体名、発表会名)とそのタイトルを記載された証明書)

書籍・解説等の執筆(その執筆した書籍名、発行社名、タイトル等を記載した証明書)

講演会、セミナーなどに参加(主催した団体名と会議名又はセミナー名を記載した証明書)

本受験申請書の記載内容に相違ないことを証明します。

雇用責任者名	非破壊 三郎	証明日(西暦)	2011年 11月 17日
勤務先名	非破壊 三郎		
所属部署・役職	検査部管理課 係長		
勤務先住所	〒101-0026 東京都千代田区神田佐久間河岸 67		
TEL./FAX	TEL.: 03-5821-5101 FAX: 03-3863-3622		

+

赤外線サーモグラフィ試験 レベル1 訓練実施記録 1/1

NDI方法・レベル TTレベル1

訓練を受けた者の氏名 非破壊 新太郎

訓練を受けた者の署名・押印

証明日 年月日

●受験申請書へ添付する書類は、訓練実施記録の原本をコピーした後に、訓練を受けた者の署名(自筆署名(ボールペン等)、押印)をしてください。(訓練記録は5年間有効なため、複数回使用できます。)

訓練内容	訓練内容項目	最低必要の訓練時間(分)	訓練実施時間(分)	訓練実施日(西暦・月・日)	訓練実施場所	訓練者(氏名・押印)	氏名	押印	証書番号
理論	非破壊検査一般	1.0	1.5	2011/4/7	サーモグラフィ検査機関	斉藤 勝			
	放射工学の基礎	2.0	4.5	2011/4/7	サーモグラフィ検査機関	斉藤 勝			
	赤外線工学の基礎	2.0	2	2011/4/7	サーモグラフィ検査機関	斉藤 勝			
	赤外線サーモグラフィ装置	2.0	2	2011/4/7	サーモグラフィ検査機関	山元 拓介			
	熱負荷装置の種類	1.0	1.5	2011/4/8	サーモグラフィ検査機関	山元 拓介			
	さび(欠陥・異状)の種類	2.0	1.5	2011/4/8	サーモグラフィ検査機関	山元 拓介			
	測定原理	2.0	2	2011/4/8	サーモグラフィ検査機関	斉藤 勝			
	測定の実施	2.5	1.5	2011/4/8	サーモグラフィ検査機関	斉藤 勝			
	非破壊検査に関する技術文書	1.5	1.5	2011/4/8	サーモグラフィ検査機関	山元 拓介			
	実技	10.0	6.0	2011/4/9	サーモグラフィ検査機関	斉藤 勝			
	合計	23.0	23.0						

訓練時間・講義と実技の時間配分確認欄

最低必要の講義時間	16.0
最低必要の実技時間	16.0
必要の総時間	40.0
講義と実技の時間配分	
講義	16~24
実技	16~24

訓練機関名称 サーマグラフィ検査機関

所在地 〒XXXX-XXXX 東京都江東区有明1-× 江崎ビル7階

訓練責任者 山元 洋祐

役職 XXXXX XXXXX

連絡先(電話番号/FAX) 電話番号 XX-XXX-XXXX / FAX XX-XXX-XXXX



1 か所の訓練機関で訓練を受けたり、訓練実施記録が 1 枚で訓練時間を満足する場合は受験申請書(2枚)と訓練実施記録(1枚)の提出のみで結構です。(訓練実施記録集計表を添付する必要はありません)

※提出物※

新規受験申請書(㊟・㊿2枚) + 訓練機関Aで受けた訓練実施記録(1枚)

(受験申請時の提出書類)

2 か所以上の訓練機関または訓練実施記録が 2 枚以上で訓練時間を満足する場合

● 新規受験申請書 ●
(㊟・㊿2枚プリントして下さい。)

新規受験申請書 (2011年12月12日)

受験申請者: 藤城 三郎 (1949年12月09日)

受験先機関: 株式会社 藤城 三郎 (〒101-0026 東京都千代田区神田久段河原 67)

訓練実施記録集計表 (2011年04月07日 ~ 2011年04月12日) 合計訓練時間: 52.5 時間

訓練機関A: 株式会社 藤城 三郎 (〒101-0026 東京都千代田区神田久段河原 67) 訓練時間: 25 時間

訓練機関B: 株式会社 藤城 三郎 (〒101-0026 東京都千代田区神田久段河原 67) 訓練時間: 27 時間

合計訓練時間: 52.5 時間

● 訓練実施記録集計表 ●
(訓練時間の集計をまとめて下さい。)

赤外線サーモグラフィ試験 レベル1 訓練実施記録集計表

訓練内容	訓練内容項目	訓練時間(分)	訓練時間(時)	訓練機関名
理論	基礎知識(一般)	1.0	3	サーモグラフィ検査機関
	熱伝導・放射	2.0	4.5	サーモグラフィ検査機関
赤外線工学の基礎	赤外線一般知識	2.0	4	サーモグラフィ検査機関
	赤外線放射の基礎	2.0	4	サーモグラフィ検査機関
赤外線サーモグラフィの基礎	放射率・放射率の測定	2.0	4	サーモグラフィ検査機関
	放射率・放射率の測定	2.0	4	サーモグラフィ検査機関
赤外線検査の基礎	放射率・放射率の測定	1.0	3	サーモグラフィ検査機関
	放射率・放射率の測定	1.0	3	サーモグラフィ検査機関
赤外線検査の応用	放射率・放射率の測定	2.0	3	サーモグラフィ検査機関
	放射率・放射率の測定	2.0	3	サーモグラフィ検査機関
測定装置	放射率・放射率の測定	2.0	4	サーモグラフィ検査機関
	放射率・放射率の測定	2.0	4	サーモグラフィ検査機関
測定の実際	放射率・放射率の測定	2.5	3	サーモグラフィ検査機関
	放射率・放射率の測定	2.5	3	サーモグラフィ検査機関
赤外線検査に関する技術文書	放射率・放射率の測定	1.5	3	サーモグラフィ検査機関
	放射率・放射率の測定	1.5	3	サーモグラフィ検査機関
実技	放射率・放射率の測定	10.0	12	サーモグラフィ検査機関
	放射率・放射率の測定	6.0	7	サーモグラフィ検査機関
合計		52.5	52.5	

● 訓練機関 A で 24 時間分の訓練実施記録 ●

赤外線サーモグラフィ試験 レベル1 訓練実施記録

訓練内容	訓練内容項目	訓練時間(分)	訓練時間(時)	訓練機関名	注	備考	
理論	基礎知識(一般)	1.0	1.5	2011/4/7	サーモグラフィ検査機関	斉藤 隆	
	熱伝導・放射	2.0	4.5	2011/4/7	サーモグラフィ検査機関	斉藤 隆	
赤外線工学の基礎	赤外線一般知識	2.0	2	2011/4/7	サーモグラフィ検査機関	斉藤 隆	
	赤外線放射の基礎	2.0	2	2011/4/7	サーモグラフィ検査機関	石川 隆平	
赤外線サーモグラフィの基礎	放射率・放射率の測定	2.0	2	2011/4/7	サーモグラフィ検査機関	石川 隆平	
	放射率・放射率の測定	1.0	1.5	2011/4/9	サーモグラフィ検査機関	石川 隆平	
赤外線検査の基礎	放射率・放射率の測定	2.0	1.5	2011/4/9	サーモグラフィ検査機関	石川 隆平	
	放射率・放射率の測定	2.0	2	2011/4/9	サーモグラフィ検査機関	斉藤 隆	
測定の実際	放射率・放射率の測定	2.5	1.5	2011/4/9	サーモグラフィ検査機関	斉藤 隆	
	放射率・放射率の測定	2.5	1.5	2011/4/9	サーモグラフィ検査機関	石川 隆平	
赤外線検査に関する技術文書	放射率・放射率の測定	1.5	1.5	2011/4/9	サーモグラフィ検査機関	石川 隆平	
	放射率・放射率の測定	1.5	1.5	2011/4/9	サーモグラフィ検査機関	石川 隆平	
合計		24.0	24	2011/4/7	サーモグラフィ検査機関	斉藤 隆	

● 訓練機関 B で 16 時間分の訓練実施記録 ●

赤外線サーモグラフィ試験 レベル1 訓練実施記録

訓練内容	訓練内容項目	訓練時間(分)	訓練時間(時)	訓練機関名	注	備考	
理論	基礎知識(一般)	1.0	1.5	2011/4/7	サーモグラフィ検査機関	斉藤 隆	
	熱伝導・放射	2.0	4.5	2011/4/7	サーモグラフィ検査機関	斉藤 隆	
赤外線工学の基礎	赤外線一般知識	2.0	2	2011/4/7	サーモグラフィ検査機関	斉藤 隆	
	赤外線放射の基礎	2.0	2	2011/4/7	サーモグラフィ検査機関	石川 隆平	
赤外線サーモグラフィの基礎	放射率・放射率の測定	2.0	2	2011/4/7	サーモグラフィ検査機関	石川 隆平	
	放射率・放射率の測定	1.0	1.5	2011/4/9	サーモグラフィ検査機関	石川 隆平	
赤外線検査の基礎	放射率・放射率の測定	2.0	1.5	2011/4/9	サーモグラフィ検査機関	石川 隆平	
	放射率・放射率の測定	2.0	2	2011/4/9	サーモグラフィ検査機関	斉藤 隆	
測定の実際	放射率・放射率の測定	2.5	1.5	2011/4/9	サーモグラフィ検査機関	斉藤 隆	
	放射率・放射率の測定	2.5	1.5	2011/4/9	サーモグラフィ検査機関	石川 隆平	
赤外線検査に関する技術文書	放射率・放射率の測定	1.5	1.5	2011/4/9	サーモグラフィ検査機関	石川 隆平	
	放射率・放射率の測定	1.5	1.5	2011/4/9	サーモグラフィ検査機関	石川 隆平	
合計		16.0	16	2011/4/7	サーモグラフィ検査機関	斉藤 隆	

2か所以上の訓練機関で訓練を受けるなどして、訓練実施記録が2枚以上で訓練時間を満足する場合は、更に訓練実施記録集計表に訓練時間の集計をまとめていただき、新規受験申請書と共に提出して下さい。

※提出物※

新規受験申請書(㊟・㊿2枚) + 訓練実施記録集計表 + 訓練機関Aで受けた訓練実施記録 + 訓練機関Bで受けた訓練実施記録

